**ついに、**ちゃんのイエスがおまれになりました。ののびとみがのさんのに、また、ごのに、かにがれますように。でありメシアであるイエスのは、とのにあるすべてのものに、いのをもたらしてくれるでした。は、のにぎながらも、のではそのからすることのできないのために、なりをいとしてわされました。ところが、そのないのは、のときくかけれていました。イエスのはしいのヨセフとおとめマリア、また、そののためにされたのは、なベッドではなく、のにおいがするといとだけでした。もがてもこれはのりでありいであるのにはふさわしくないようにえます。

**しかし、**わたしたちは、このでめての「みすぼらしいクリスマス」から、がまれたいのをつけることになります。それはくてれなのれのき、いでしょう。それはれで、のれをっていたいたちにれたのからもかります。そのとき、はらに「あなたがたはにくるまっていのにているみをつけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」とったのです。それをいたいたちは、イエスのをしねてイエスにい、たちがからいたことをにもかせてくれたわけです。きっと、そのとき、らののれもにやってて、そののりはのれのやにおいでいっぱいになったでしょう。そんなところに、には、のたちもってきました。らはしいにかれてきましたが、しばらくはたちのいのままにをび、ヘロデのにりきました。しかし、はらのみがそこでまらないようにしてくださり、らもイエスにうびをわうことができました。のたちもいをちんでいたとして、イエスののれにえられたにいありません。のいであるイエスにとって、ごのをっているであるなら、や、や、のなどのは、もうのないものなのです。むしろイエスはごのをちみながら、をへりくだるであるならでも、ごののれにえれ、そののみをえてくださいます。そして、そののためにごのをげて、えておかれたのパンといので、そののれをってくださるのです。

**わたしたちがきているこのには、**このようなき、いがです。ののなやはをけて、そのためにないやいがじ、その、いにみい、ねたみい、また、みうことになるのです。ののくの、に、あらゆるのたちは、なりののをしながらそれをこうとしていますが、なかなか、そのがれてないのはなぜでしょうか。それは、ぶるやのことだけをろうとするにらわれているからでしょう。そして、たちのにてのがかれるべきとっているからです。でも、イエスはただのにい、ごをしてすべてのがへのをめるようにらさなものとなり、すべてののいのため、らをげてくださいました。ですから、わたしたちのあるも、そのイエスにって、らをくし、また、いにしい、しうべきです。それこそが、イエスのをのとしてけめるののでもあります。

**さて、**イエスはいにかせられました。いとはどんなものでしょうか。それはにをべさせるためのものでしょう。イエスはらそのいのとなられました。ごののれであるわたしたちにごのをえ、わたしたちがごとにきることができるようにするためです。いののたちがじをべることとに、わたしたちも、ただイエスのつのれとして、イエスのつのをべ、つのにるのです。めて、わたしたちのい、き、いであるイエスのが、のさんのしいとなるよう、また、そのみとびがのさんをいつもってくれるよう、おりいたします。